



及川 朝美さん(51)
久仁江 さん(50)

＝胆沢区若柳字荒谷＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

家の中に招き入れられると、木のぬくもりあふれる内壁が印象的な及川家。胆沢区で農家民泊の受け入れを行っている及川夫妻は、訪れる人を笑顔で歓迎してくれます。

2人の出会いは県が主催するリーダー育成研修。船に乗って17日間、宮古から沖縄、フィリピン、香港などを一緒に巡りました。結婚に至った理由を妻の久仁江さんは「なりゆきです」と笑い飛ばしま

すが、夫の朝美さんは久仁江さんという「楽しくて飽きなかった」と言い、久仁江さんも明るく人当たりの良い朝美さんの人柄に惹かれました。

夫婦円満の秘訣はよく話し、コミュニケーションをとること。毎晩、2人で晩酌しながら言葉のキャッチボールを交わします。「もう球が読めます」と久仁江さんが言えば、「新しい球種を身に付けない」と朝美さん。結婚26年目の夫婦の掛け合いは息ぴったりです。

農家民泊について「受け入れた人たちと一緒に飲んだり、米が美味しかったと帰った後、も買ってくれたり。たくさんの人と出会ってつながることがうれしいし面白い」と話す夫婦は、とても温かくて優しい笑顔の持ち主。まるでそこが自分の実家だと錯覚してしまうような温かさに、及川家へ民泊に訪れる人は後を絶ちません。

夢トーク

39

将来の夢は「全日本バレーボール選手」



佐藤 優衣 さん
(水沢区・羽田小学校6年)

Interview

——普段はどんなことをして遊んでいますか？

外で遊ぶのが好きで、よく鬼ごっこをしています。

——好きなスポーツは？

バレーボールです。スポーツ少年団の常盤VBCでセッターをしています。見るなら野球が好き。こしは応援している楽天イーグルスが優勝してうれしかったです。

——小学校の思い出は？

運動会で応援団長を務めたことです。初めはまとまらなくて大変だったけれど、最後はみんなが一

つになって、競技でも応援合戦でも勝つことができました。

——将来の夢を教えてください。

全日本バレーボール選手になることです。世界の舞台で活躍する選手をテレビで見て憧れました。

——夢を叶えるために、がんばっていることはなんですか？

スポ少での練習のほかに、家で自主練習しています。目標とする選手は、今は引退してしまいましたが竹下佳江さん。彼女のように、ピンチの時も声を出せる選手になれるようにがんばります。

中高生の部活動や
委員会活動を紹介

3

青春讃歌

水沢中学校 男子バスケットボール部

- ◎部員数 18人
- ◎顧問 田代真史先生
- ◎主将 栗野瑛介君



中総体では後悔しない

「地区大会で優勝したい」——水沢中学校男子バスケットボール部主将の栗野君（2年）は、半年後の中学校総合体育大会の目標をはっきりと言い切りました。

11月に行われた県中学校バスケットボール選抜大会胆江地区予選。同部は惜しくも1回戦で敗退しました。9点差という僅差での敗北。県南ブロック大会への出場がかかっていただけに、悔しさは大きなものがありました。

シュートを積極的に打つ攻めのチーム。1年生の速さと2年生の高さを活かしてゴールを狙います。一方リバウンドがなかなか取れず、ディフェンスを課題に挙げますが、顧問の田代先生は「新人戦に比べてディフェンスの意識が高くなっている」と生徒たちの成長を評価します。

来年の中総体では後悔したくない。生徒たちは冬場、基礎となる足腰を中心に鍛え、基本に忠実な練習で技術を磨きます。「みんなで協力して絶対優勝します」という栗野主将の言葉を胸に、厳しい冬場の練習に挑む覚悟です。



目指すは「水中一走る部活」。スピードには自信があります



おうしゅう 羅針盤

慢性的な農業用水不足に悩む本市にとって長年の悲願だった胆沢ダムが、ついに完成しました。先月、竣工式と祝賀会が行われましたが、天候に恵まれたこともあり、多くの方からいい式典だったとお言葉をいただきました。

住家移転や工事用地提供にご協力いただいた皆さんをはじめ、関係者の皆さんに改めて感謝します。今後は、奥州湖を含め、新たな観光資源としての活用も見据え、ダムと共存するまちづくりにより、地域の活性化を図っていきます。

先月、後藤新平先生が学長を務めた拓殖大学から講演依頼を受け、初めて教壇に立つてきました。奥州市の紹介も加え、私のまちづくりに対する考えを話したところですが、学生にとって単位取得に関わる講義になるとのこと、恐

縮しつつも、貴重な体験をさせていただきました。今後、大学とご縁を大切にしていきたいと思っています。

また、先月は国への要望活動も数多く行ってきました。自民党本部や農林水産省、地元選出国会議員の皆さんに、放射能問題や国際リニアコリアー誘致など市の現状を説明し、支援を要望してきたほか、国土交通大臣には直接面会し、水沢東バイパスの整備促進をお願いしたところです。今後、市の発展のため、機会を捉えて要望活動を積極的に行っていきます。

統合する前沢区の7小学校のうち、上野原小学校の閉校式が一足先に行われました。新しい前沢小学校の校舎も完成したほか、7校の同年同士の交流学习も行われるなど、着々と統合に向けての準備が進められています。各学校の輝かしい伝統が新しい学校へ引き継がれ、一つになることでさらに素晴らしい学校が誕生することを、今から心待ちにしています。

奥州市長 小沢昌記